

本学客員教授の吉川元偉前国連特命全権大使による講演会を開催

2017.07.27



吉川元偉(よしかわ もとひで)氏 前国際連合日本政府代表部 特命全権大使・常駐代表

本学客員教授の吉川元偉先生による講演会が7月12日(水)と19日(水)の2日間にわたり、本学2号館で行われました。当日は外務省在外公館派遣員試験の合格を目指す学生や、国際機関に興味を持つ学生を中心に多くの在学生在が会場に集まりました。講演会で吉川先生が実際にバリ協定にサインしたペンを持ち、その現場での経験談を語る姿に在学生の熱い視線が集まりました。

1日目となる7月12日(水)には「日本が国際社会で直面する課題」というタイトルで、第二次世界大戦期の日本の外交官である重光葵氏をトピックとして、国際社会の歴史を追い、現在の国際情勢に重ね合わせる形で講演が行われました。講演会の終盤には「大学を卒業した後に、日本の国際社会における大きな役割の一端を担うという気持ちを持って頑張ってください」と在學生にメッセージが送られました。その後、在學生から多くの質問があり、「現代の外交官に求められる素質などはありますか」という問いには「国際社会の表舞台では国の代表が母国語で話すことが多いが、舞台裏での交渉などを考えるとやはり高い英語力が必要であり、更には出来る限り多くの言語が話せるとより効果的です」と話されました。



そして2日目となる7月19日(水)には「国際社会に出て行こう」というタイトルでゲストとして外務省に勤めるOB・OGを招き、講演会を行いました。OB・OGの方からは実際の現場での業務のお話や、外務省を目指したきっかけなどが話されました。神田外語学院出身の安川さんは、自身にとって初めての海外赴任となったガボンへの赴任の際にフランス語でコミュニケーションする難しさを感じたという経験談を話し、同じ言語でも数多くの方言などがあり、それが言語の難しさでもあると語りました。松永さんも在外公館派遣員としてボストンで働いたことをきっかけに、外交に興味を持ち外務省に入省したと経験談を話しました。

在外公館派遣員や外交の舞台を目指す在學生のモチベーションに繋がる講演会となりました。そして、講演会の終わりには、久保谷先生の「グローバル教養講座」を受講した学生、外務省在外公館派遣員試験合格者100名突破をお祝いし、在學生から花束が贈られました。華やかな雰囲気の中、吉川先生の2回にわたる講演会は終了しました。吉川先生の講演会は後期にも開催する予定です。



外務省大臣官房儀典外国訪問室長
儀典官 安川雅之さん



外務省大臣官房儀典外国訪問室
外務事務官 松永奈津実さん



元在タンザニア日本国大使館派遣員
江波戸明香さん



久保谷先生と在外公館派遣員試験合格者